

出雲市立第三中学校 第三学年 国語科学習指導案

日 時：平成26年11月7日（金）5校時

指導者：兒玉 文子

1) 単元名

「言葉」を考える

～「正しい」言葉は信じられるか～

2) 単元のねらい

- ・言語表現の特徴を知り、言葉について自分の考えをもととする。【国語への関心・意欲・態度】
- ・文の順序や語句の使い方に注意して読むことができる。【読む能力】
- ・漢語・和語・外来語の使い分けや語感に注意することができる。【言語についての知識・理解・技能】

3) 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
言語表現の特徴を知り、言葉について自分の考えを書こうとしている。	文の順序や語句の使い方が読み手にどんな印象を与えるかを考えながら読んでいる。(ア)	和語・漢語・外来語などの使い分けや語感に注意している。 (1)イ(イ)

4) 単元の基盤

①教材について

この説明文は、文の順序と語句の選び方に焦点をしぼり、同一の事実でも表現のしかたによって印象が変わることを取り上げている。本文中には、一つの事実についての二種類の新聞記事とその解説が示されており、生徒が記事の印象の違いや情報発信者の意図に気づきやすい構成になっている。また、『『正しい』言葉も人をだますことがある。ゆえに、私たちは言葉の性質をしっかりと理解し、物事を複数の視点から眺める習慣をもつべきだ』という筆者の提言は生徒の既成概念をゆさぶる力をもっており、言葉について真正面から考える好機を与えてくれる文章である。

②生徒について (省略)

③指導にあたって

まず、本文を理解しやすくするために、本文中の重要語句はあらかじめ学習しておく。

次に、生徒が自分自身の「言葉」についての考えの変化をとらえやすくするために、単元のはじめとまとめの場面で、「言葉」についてマッピングを書き、コメントを書かせる。

さらに、高校入試での自己PR文を書く場面を想定し、文の順序や語の使い方を工夫して書く活動を通して、自分の意図や読み手に与える印象を考えさせる。そして、自分の書いた自己PR文の工夫について、本文中の筆者の語いを用いて説明する活動を通して、これから出会うさまざまな表現を吟味できる力を育みたい。

5) 単元の指導計画と評価計画 (全6時間)

次	時	目 標	主な学習活動	評 価			
				語	読	語	評価規準 (評価方法)
1次	1	学習の見通しをもつ。	①学習の目標と流れについて知る。 ②言葉マップ(1)を書く。 ③全文を通読する。 ④気づいたことや考えたことを書く。	○			【国】学習活動の見通しを持ち、文章の内容に興味関心を示している。(観察・ワークシート)
2次	2・3	文章の内容を読み取る。	①筆者が2種類の新聞記事の例から何を伝えようとしているのかを読み取り、筆者の主張をおさえる。 ②この文章で述べられている言葉の性質が、これから生きていくときにどんな場面で生かせるかを考える。		○		【読】文の順序や語句の使い方が印象の違いを生むことをとらえている。(観察・ワークシート)
	4 (本時)	文の順序や語句の使い方を意識して自己PR文を書く。	①前時の②について、友達のを考える。 ②高校入試の自己PR文を想定し、自分の意図や相手に与える印象を考えながら、「中学校3年間で一番がんばったこと」について書く。 ③自己PR文で工夫したところを書く。		○		【読】文の順序や語の使い方を工夫して書くことを通して、自分の意図や読み手に与える印象を考えている。(観察・ワークシート)
3次	5	言葉について自分の考えを書く。	①グループで、自己PR文と表現の工夫を発表し合う。 ②言葉マップ(2)を書き、コメントを書く。	○	○		【読】自分の自己PR文について、筆者の語いを用いて説明している。(ワークシート) 【国】言葉について自分の考えを書いている。(ワークシート)
	6	学習を振り返る	①友達の言葉マップとコメントを読む。 ②学習のまとめをする。	○			【国】友達の言葉マップやコメントに関心をもって読んでいる。(観察)

6) 本時の学習 (第2次 4時間目)

①本時のねらい

- ・文の順序や語の使い方を工夫して書くことを通して、自分の意図や読み手に与える印象を考慮することができる。【読む能力】

②本時の展開

学習活動	教師の支援	評価 (評価方法)
1 文章を読んで知ったことがこれからどんな場面で生かせるか、友	○前時に書いた付箋を紹介し、これからさまざまな場面で生	

<p>達の考えを知る。</p> <p>2 本時の目標と流れを確認する。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">高校入試の自己 PR 文を書く</p> <p>3 高校入試の自己 PR 文を想定し、自分の意図や読み手に与えたい印象を明確にして、文の順序や語句の使い方を工夫しながら書く。</p> <p style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;">テーマ「中学校生活で一番がんばったこと」</p> <p>①自己 PR 文を書く際の意図（だれにどんな印象を与えたいか）を確認する。</p> <p>②「がんばったこと」の題材を決め、「よいこと」「わるいこと」について、書き出してみる。</p> <p>③文の順序を意識しながら、自己 PR 文を書く。</p> <p>④書いた自己 PR 文を読み直し、言い換えできる語があれば言い換える。</p> <p>⑤自己 PR 文で工夫したところを書く。</p> <p>4 本時のねらいについての振り返りをする</p>	<p>かせることを伝える。</p> <p>○目標と流れを示す。</p> <p>○ワークシートに、①～⑤を考えるためのてびきを示す。</p> <p>○高校入試の自己 PR 文について説明する。</p> <p>○題材が浮かびにくい生徒には、個別に助言する。</p> <p>○言い換えの参考として、類語を紹介する。</p> <p>○必要に応じて、読み合ってアドバイスさせる。</p> <p>○筆者の語いを用いて自己 PR 文の工夫を説明させる。</p>	<p>【読】文の順序や語の使い方を工夫して書くことを通して、自分の意図や読み手に与える印象を考えている。 (観察・ワークシート)</p>
--	---	--

③本時の評価

	十分満足できると判断される生徒の具体例	おおむね満足できると判断される生徒の具体例	支援が必要とされる生徒への指導の手立て
読む能力	読み手に与える印象を考えて、文の順序や語の使い方を工夫して書いている。	読み手に与える印象を考えて、文の順序を工夫して書いている。	文の順序によって読み手に与える印象が異なることを確認し、書き方を助言する。